

智辯学園

CHIBEN GAKUEN WAKAYAMA

和歌山

中学校
高等学校

CHALLENGE,
CHIBEN!

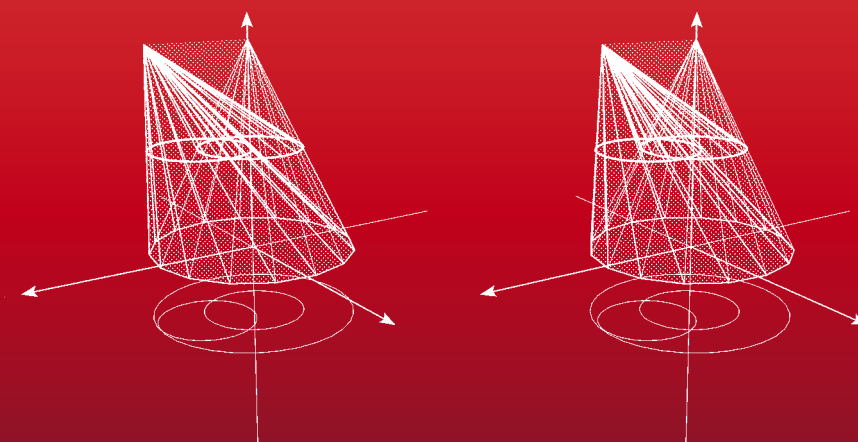
智辯学園和歌山中学校・高等学校

〒640-0392 和歌山県和歌山市冬野2066-1

Tel.073-479-2811 Fax.073-479-1190

<https://www.chiben.ac.jp/wakayama>

併設校 智辯学園和歌山小学校



SCHOOL GUIDE 2021

[2020 東大入試より(3D図形)]

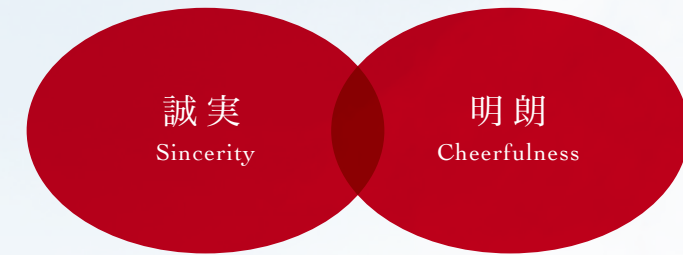


感謝の心と強い絆 そして未来へ

ここで挑む、自分を超える。

2018年に創立40年を迎え、
今後もさらなる挑戦を続けていく智辯学園和歌山中学校・高等学校。
教育を通じて心身ともに成長できる環境の中、
生徒一人ひとりが、自分自身の可能性や目標に挑戦しています。

愛のある教育



智辯学園が目標とする「人」は

- ① 明朗で知性溢れる人
- ② 不屈の精神と使命感を持つ人
- ③ 自己を確立しつつも社会性豊かな人
- ④ この世に生をうけた幸福を知る人

【教育の原点、教育目標】

「真心のある明るい元気な子」を。

生徒を実の子どものように思いやり、愛情を持って接する、“愛のある教育”が教育の原点であると考えます。この原点に常に立ち返り、生徒一人ひとりを献身的に支え、“誠実・明朗”で心豊かな人物をはぐくむことが本学園の使命です。四十年前、和歌山の地に教育の場を開いて以来、こうした強い想いは変わることなく、具体的な成果をあげています。確かな実績をもとに、今後も教育に取り組み、生徒全員のさらなる能力向上をかなえたいと願っています。

理事長 高等学校長
藤田 清司



【コース編成】

中 学					
1	2	3	4	5	6
中・高6年 一貫コース（5クラス/215名 内部進学生80名含む）					
編入コース（1クラス/45名）					
スポーツコース（1クラス/10名）					
1	2	3	高 校		

【 Contents 】

01-02	教育の原点、教育目標	08	コース紹介Ⅰ	15-16	スクールガイド
03-04	卒業生メッセージ	09-10	2つのコース	17	インフォメーション
05-06	教育の特色Ⅰ	11-12	コース紹介Ⅱ	18	交通アクセス
07	教育の特色Ⅱ	13-14	スクールライフ		

卒業生メッセージ

大学合格はゴールではなく、スタートに過ぎません。もっと先を見据えることが大切です。
ここには、大学生や社会人として活躍する卒業生から寄せられたメッセージを掲載しています。
これらを参考に、あなただけの未来を思い描いてください。

大学合格実績2020 (R2年度) ※文部科学省管轄外大学校合格者含む

国公立大学



私立大学



東京大学 文科Ⅲ類

河 紐羅さん
2019年卒



学園生活を通して、辛い時には支え合い、楽しい時にはとことん笑い合える友達をつくることが出来ました。また私は高校3年に進級する際に理科系から文科系に進路変更をしましたが、先生方の手厚いサポートのおかげで無事志望大学に合格しました。智辯生として過ごした時間を振り返ると、智辯学園での時間は自分が心身ともに大きく成長できた期間だったと感じてお

り、今でもかけがえのない思い出です。私は現在、東京大学で、幅広い分野の授業に加え、留学生との交流やサークル活動など、中学、高校とはまた異なる経験を通して将来の夢に向かって精進しています。私がこのような環境にいられるのは、私を支えてくださった先生方や友達のおかげです。心から感謝しています。

東京大学 文科Ⅰ類

坂田 拓真さん
2019年卒



中学入試でこの学園に入学した当時の私は、まさかこの学園での生活が自身の人生においてここまで大きなものになるとは思っていませんでした。正直、進学校での学園生活は退屈なものになるだろうと思っていましたし、他の中学に入学した小学校の同級生を羨ましいとも感じていました。しかし、いざ入学してみれば多才な同級生や個性的な先生方に囲まれ、かけがえのない

6年間を過ごすことができました。特に野球応援や部活動では、この学園でしか経験できなかったであろう経験をすることができました。勉学に関しても、放課後まで続く先生方の熱心な指導、切磋琢磨した友人たちの存在があったので、自信を持って受験に挑むことができました。卒業した今でも、この学園で得られたものが支えとなっています。

東京大学 理科Ⅲ類

谷口 豊詞さん
2019年卒



僕は中学から高校にかけての6年間をこの智辯和歌山で過ごしました。心を許せる友達と普段は笑い合い、勉強では競い合い、文化祭や球技大会などの学校行事では、長い準備を経て、皆で感動を共有することができました。また、部活動で科学部の一員として「科学の甲子園」に出場し、全国5位を勝ち取ったあの瞬間は、まさに青春でした。これらの経験は私にとって掛け替えの

ない宝物となっています。勉強面では、基礎から丁寧に学ぶことができる授業と反復練習を重視した豊富な課題のおかげで、塾に通うこともなく、学校で配られた教材と過去問だけで現役合格することができました。時にはいろいろと思い悩むこともありましたが、当時も今も、この学校で本当に良かったと思っています。

京都大学 医学部医学科

島 優一郎さん
2019年卒



京都大学に進学して約1年が経ち、中学、高校時代を思い返すと、智辯和歌山で過ごした6年間は非常に貴重なものであったと感じます。勉強ばかりでなく、林間・臨海学校といった校外研修や様々な課外活動に参加できたり、留学経験ができたというのは、自身の視野を広げる上でとても恵まれた環境です。質問すれば、様々な文献に当たって親身に応えてくれる先生が多

く、また普段の学校生活でも生徒と先生の距離が非常に近いのも魅力的です。個性的で、活力ある同級生に囲まれ、最高の中学、高校生活を送ることができます。この学園で過ごした日々が今の自分の基礎となっていることが実感され、改めて通って良かったと感じています。

東京大学 理科Ⅰ類

湯川 龍之良さん
2019年卒



私が智辯和歌山で過ごした12年間は、大変有意義なものでした。難関大入試に備えた普段のハイレベルな授業に加え、志望校に合わせた補習など、経験の豊富な先生方の指導は学業に打ち込む上でこの上ないものでした。学業以外の活動も充実しており、特に中学、高校と所属した吹奏楽部では、部長をさせていただき、多くの貴重な経験をすることができました。また、趣味の合

う友人だけでなく、時にはライバルとなるような、志高く優秀な友人たちにも恵まれ、切磋琢磨することで自身を高めることもできました。智辯和歌山で得たものはかけがえのない宝物として今も自身を支えてくれています。今後も恵まれた環境に感謝し、日々精進を重ねて参ります。

大阪市立大学 医学部医学科

藤田 亜衣利さん
2019年卒



私は、智辯和歌山で多くの友人や先生方に出会い、素晴らしい6年間を過ごすことができました。先生方はいつでも相談に乗って下さり、質問をすればそれに付随する内容まで教えて下さったので、塾に通わなくても受験を乗り切れたのだと思います。受験期には模試の偏差値や合否判定で一喜一憂しがちですが、いつも変わらず努力し続ける友人の姿を見て気が引き締められ

ていました。また、そのような友人たちとの他愛のない会話が楽しく、受験勉強のいい息抜きになっていました。勉強面以外でも、アメリカ・オーストラリア短期留学、修学旅行、野球応援など様々な体験を通じて自分を高められたことは私の誇りです。智辯和歌山で学んだことを忘れず、日々精進していきたいと思います。

一橋大学 経済学部

廣田 有希留さん
2019年卒



智辯和歌山で過ごした中高6年間は非常に充実したものでした。まず、勉強という面でこれ以上ない環境が整っています。先生方は質の高い授業を展開するだけでなく、常に生徒の自主性を重んじており、どんなことにも親身になって相談に乗ってくださりました。さらに、周りには高みを目指す友人たちがいて、いつも刺激ももらっていました。一方で、野球の全校応援など

他では味わえない経験ができるのもこの学園の魅力です。私自身、生徒会長という立場で様々な経験を積ませていただきました。大学生になった今、改めて智辯和歌山での日々が私を支えていると感じます。ここで学んだことを糧に、これからも夢に向かって突き進みたいと思います。

京都大学 理学部

立松 蓮さん
2019年卒



私は6年間を智辯和歌山で過ごしました。そこで出会えた友人と共に参加した修学旅行や高校野球の全校応援は、特に貴重な経験として今でも心に残っています。入学当初、私は上位クラスに入ることができませんでしたが、理事長先生がおっしゃった毎日の自宅学習を心がけることで中2より上位クラスに入ることができました。クラスメイトたちはいずれも意欲的に学習に

取り組んでおり、大きな刺激を受けました。それに加え先生方の熱心なご指導や、得意教科である数学を中心とした徹底的な予習復習のおかげで、塾に通うこともなく京都大学理学部に特色入試で合格することができました。これからの智辯和歌山で出会えた仲間や、得られた経験、感謝する心を大切に邁進して行きたいと思います。

教育の特色 I

知力の徹底的訓練を期す

知力を磨くためには、知識を修得するだけでなく、それらを発展的に活用する体系的な思考力も身に付ける必要があります。

本学園では1校時を60分とし、週単位時間数や年間授業日数も可能な限り確保。英語、数学、国語の基礎学力の習得に特に配意。

さらに十分な時間をかけて授業を行うことで、高度な内容にまで理解を深め、思考力・創造力を養います。

これにより、生徒が望みうる最高の大学進学の実現をめざします。

授業時間

60分

年間授業日数

約250日

週単位（最高）

39時間

智辯学園が目標とする「人」は

- 明朗で知性溢れる人
- 自己を確立しつつも社会性豊かな人
- 不屈の精神と使命感を持つ人
- この世に生をうけた幸福を知る人

豊かな人間性を育む教育

教育の目的は人格の完成をめざすことであるため、「心」の教育は大変重要です。

本学園では宗教的情操教育を基盤として“豊かな人間性を育む教育”を実践し、美しいもの、すぐれたものに接して感動する心豊かな人間の育成を図っています。そのため、「宗教」を必修とし、履修を義務づけています。

そのほか、毎日の読経や月一回の「感謝祭」など、あらゆる機会をとらえ、自分自身を見つめ直します。

- 01 「宗教」の時間では、宗教的情操を養い、「人と心」の問題を研鑽する。
- 02 毎月1回「感謝祭」を行い、四恩（父母の恩、衆生の恩、三宝の恩、天地の恩）に感謝を捧げ、今後の努力と精進を誓う。
- 03 毎朝始業前に読経し、心を静め、決意新たに1日の学校生活を開始する。
- 04 あらゆる機会、あらゆる生活の場で、「豊かな人間性」を育み、感謝と奉仕のできる人間をめざす。

教育の特色 II



三位一体の教育

本学園の教育は相互の信頼と扶助にもとづく努力と創造によって達成されるものと考えています。同じ志の下に集い、努力を惜まず目標に挑戦する生徒と、本学園の教育理念に賛同し、我が子の成長を願い日々の教育実践を支える保護者、そしてその親の願いを叶えるべく、日々研鑽を積み、情熱をもって生徒に関わる教職員。三者の結束と連携が発揮されることで、本学園に求められるすべての希望と期待が充足されるものと確信しています。

国際人を育てる教育

国際的な教養と感性、国際平和をめざす強い意思は、これからの時代にますます重要になります。本学園では真の国際人としての成長をめざし、海外交流を重ねています。アメリカ・ワシントン、韓国・ソウル、オーストラリア・シドニーにある姉妹校と交換留学を行っています。他国の同世代の若者との交流を通じて、世界平和の重要性の再認識と国際人としての資質を養います。



体験型学習を通して 自主性・協調性を養う※

中学校では各学年でそれぞれ3～4日の校外研修を実施しています。中学1年では奈良県の曽爾高原(国立曽爾青少年自然の家)で林間学校を行い、これから共に勉学に励む仲間との協調性を育みます。中学2年では淡路島で臨海学校(国立淡路青少年交流の家)を行い、カッター研修にチャレンジしたり、伝統文化に触れたりします。いずれも豊かな自然に親しみ、規律ある団体生活を通して、自主性や責任感、リーダーシップを養う貴重な機会です。中学3年は広島で平和学習を行うとともに、瀬戸内海沿岸を周遊し、それぞれの地域の歴史や文化を学びます。

※中・高6年一貫コース



コース紹介 I

中・高6年 一貫コース

〔募集人員〕 3クラス 135名



目標に向かって
着実に歩んでいける
学校です。

難関大学への合格実績が高く、智辯学園ならではの様々な体験ができることから、この学園を志望しました。学習面において、大学受験を見据えた学園独自のカリキュラムが充実していて、勉強ができる環境にとっても恵まれています。クラスでは、個性豊かでありながら、それぞれの高い目標に向かって努力する志の高い友人達に囲まれ、互いに切磋琢磨しながら、有意義で充実した日々を送っています。また、疑問点を自分自身が納得するまで先生方が熱心に指導して下さるので、勉強に対する意欲が高まり、授業内容をしっかりと理解することができます。目標である難関大学合格を実現するため、これからも日々の努力を惜みず、高い目標を持ち続けたいと思います。

中・高6年一貫コース 中1 小野 莉瑚さん 和歌山市立有功小学校出身

編入コース

〔募集人員〕 1クラス 45名



クラスの団結力と
先生方のサポートで
進化を実感しています。

医学部への進学実績が高いことから受験を決めました。授業のペースは速いものの、先生方は6年一貫コースとの合流を見据えた上で、自分たちに合ったレベルの授業を展開して下さいます。また、授業での疑問点やわからない問題に対しての質問には、丁寧に解説をして下さるので、きちんと理解することができます。編入コースのもう一つの特徴は、クラスの団結が強いこと。お互い高め合いながら勉強することができるので、楽しく充実した日々を送れています。一年に何度か行われる模擬試験を通して、全国の進学校の生徒とも実力を比べることができ、目標に向けた高い意識を保つことができます。このような充実した環境を活かし、第一志望の大学合格に向けて力を伸ばしていきたいと思っています。

編入コース 中4(高1) 嘉藤 稜士さん 広川町立耐久中学校出身

特長 01 早期から大学入試を見据え
効率的なスケジュールで学ぶ。

中学・高校の3・3制の分断システムから脱却し、中・高の学習内容を再編成することで、無用な足踏みや無理な疾走、無意味な重複を避けることができます。その結果、可能な部分をできるだけ進めたり、時間をかけるべきときはじっくり取り組んだりするなど、腰を据えての資質開発が可能となります。

特長 02 成長段階にふさわしい
人間教育で精神面を豊かに。

思春期は精神的に繊細な時期。6年間を通して、一人ひとりに必要な安定した人間教育を可能とするのが6年一貫教育です。安定した環境で学ぶことは、成長段階にふさわしい人間教育で精神面を豊かにする上で重要なことと考えます。

特長 01 1年間でほぼ2年間分を学習し
6年一貫コースと合流。

中・高6年一貫コースの学習進度が1年分先行していることから、編入コースの生徒は、最初の1年ではほぼ2年間分の教科内容を学習します。無理なく円滑に6年一貫教育コースの学習進度に合流できるよう計画的にカリキュラムを編成し、教科内容の精選と授業の効率化にも配慮しています。

特長 02 高校2年次から文系・理系に分かれ、
最終学年では演習中心で応用力を養う。

編入コースでは高校1年次に進度補正したあと、中学5年生(高校2年)で中・高6年一貫コースの生徒と合流し、同時に文系・理系のクラス分けを実施します。2年次には高校の教育課程をすべて修了し、最終学年では大学入試に備えて演習を中心に取り組み、応用力の養成に集中します。

2つのコース

中・高6年 一貫コース

可能性を最大限に引き出し、望みうる最高の大学をめざす。

中学校からの中・高6年一貫コースは、早期から大学入試を見据え、効率的なスケジュールで学びます。このメリットを、高校からの編入コースでも生かします。いずれのコースも、難関大学に合格できる実力を養うことが目標です。

中学内容は中2までで終了。中3からは高校内容を取り入れ、高2までで高校内容を終了。高3では、大学入試問題の演習に全力で取り組みます。切磋琢磨しあえる素晴らしい仲間と共に頑張りましょう。

中学校長 鳥居 裕史



中学課程 一期

基礎力養成をめざす

6カ年の前期にあたり、中3段階の基礎学力の養成、学習姿勢・学習方法の確立をめざし、総合的思考力の基礎作りとしての訓練を行います。



高校課程 二期

実力養成をめざす

この時期は心身ともに大きく成長する段階です。この期に6カ年の主要部分である高校段階の基礎固めと実力の養成をめざします。



三期

応用力養成をめざす

6カ年の総まとめの時期として、総合的な実力の養成を図ります。また、多様化する大学の二次試験などを考慮し、各自の目的に合った合理的な学習と応用力の養成をめざします。



中1

家庭学習を含めた、予習→授業→復習の学習サイクルという学園生活の基本を確立します。学年末には高野山合宿を実施しています。

中2

中学課程を修了し、さらに思考力養成のため、応用問題の演習をします。また、夏には貝塚合宿を実施しています。

中3

高校課程を取り入れ、中学課程を拡張させることで、合理的で効率的な学習が可能となります。夏には東京大学見学を実施。大学進学がより身近な目標になります。

中4(高1)

高校課程は演習によって理解を深めることが大切です。詳しく丁寧な授業に、ふんだんな演習を加えることで確かな実力を養います。

中5(高2)

文系理系に分かれて、それぞれが必要な選択科目を履修します。効果的で深みのある学習により、応用力を養います。

中6(高3)

全科目、大学受験に向けての演習を行います。「早朝センター演習」「直前センター演習」により、センター試験対策にも力を入れます。夏期講習、直前二次対策で実戦力を身に付けます。

週あたり授業時間数

● 中学校 [60分授業]

教科 学年	国語	数学	英語	理科	社会	他	計
1	6	6	6	5	3	8	34
2	6	6	7	5	3	7	34
3	6	6	6	3	5	8	34

● 高校 [60分授業]

教科 学年	国語	数学	英語	理科	社会	他	計
1	6	6	6	5	4	7	34
2	文	6	6	7	4	8	34
	理	6	8	6	10	4	37
3	文*	6	6	7	4	8	34
	理*	6	7	6	8	4	34

※小論文対策、リスニング対策、自由英作文対策の授業に加え、文系では社会科2次対策演習を追加し、受講できます。

編入コース

高校からの課程に6年一貫コースのメリットを生かす。

公立中学から本校中・高6年一貫コースに編入するには、進度調整が必要です。高2で無理なく円滑に合流できるよう、計画的にカリキュラムを編成し、教科内容の精選と授業の効率化にも配慮しています。編入コース入学者には、入学前の3月末から補習授業を行います。

● 高校 [60分授業]

教科 学年	国語	数学	英語	理科	社会	他	計
1	7	9	8	6	3	6	39
2	文	6	6	7	4	8	35
	理	6	8	6	10	4	38
3	文*	6	6	7	4	8	34
	理*	6	7	6	8	4	34

※小論文対策、リスニング対策、自由英作文対策の授業に加え、文系では社会科2次対策演習を追加し、受講できます。



コース紹介Ⅱ

たゆまぬ努力の大切さと偉大さ、そして感動を。

スポーツコース

【募集人員】 1クラス 10名

野球に対して高い技術と情熱を有する精鋭が集い、さらに高度なレベルアップを図り、春・夏の甲子園出場をめざすコースです。試合で勝つには、徹底的に基礎練習を繰り返すことが求められます。こうした、たゆまぬ努力が大きな成果に結びつくと考えています。

選抜高校
野球大会
甲子園出場

昭和 60年 3月	第57回
平成 6年 3月	第66回
平成 8年 3月	第68回
平成 12年 3月	第72回
平成 14年 3月	第74回
平成 15年 3月	第75回
平成 18年 3月	第78回

初優勝
準優勝
準優勝

平成 20年 3月	第80回
平成 22年 3月	第82回
平成 23年 3月	第83回
平成 26年 3月	第86回
平成 30年 3月	第90回
平成 31年 3月	第91回
令和 2年 3月	第92回

準優勝

国民体育大会
高等学校
硬式野球出場

平成 9年10月	第52回
平成 11年10月	第54回
平成 12年10月	第55回
平成 14年10月	第57回
平成 18年10月	第61回
平成 20年 9月	第63回
平成 21年 9月	第64回
平成 27年 9月	第70回
令和 元年 9月	第74回

優勝

全国高校野球
選手権大会
甲子園出場

昭和 62年 8月	第69回
平成 元年 8月	第71回
平成 3年 8月	第73回
平成 4年 8月	第74回
平成 5年 8月	第75回
平成 8年 8月	第78回
平成 9年 8月	第79回
平成 10年 8月	第80回
平成 11年 8月	第81回
平成 12年 8月	第82回
平成 14年 8月	第84回
平成 15年 8月	第85回

初優勝
優勝
準優勝

平成 17年 8月	第87回
平成 18年 8月	第88回
平成 19年 8月	第89回
平成 20年 8月	第90回
平成 21年 8月	第91回
平成 22年 8月	第92回
平成 23年 8月	第93回
平成 24年 8月	第94回
平成 27年 8月	第97回
平成 29年 8月	第99回
平成 30年 8月	第100回
令和 元年 8月	第101回



智辯学園を誇りに思い自他愛を育む。



甲子園で一体感に 包まれる全校応援

選抜高校野球大会と全国高校野球選手権大会、その予選も含めた試合の応援に、全校生徒が参加します。プラスバンド部が奏でるメロディーに合わせて力いっぱい応援すれば、選手たちと心でつながり、「智辯ファミリー」としての一体感を感じられるでしょう。

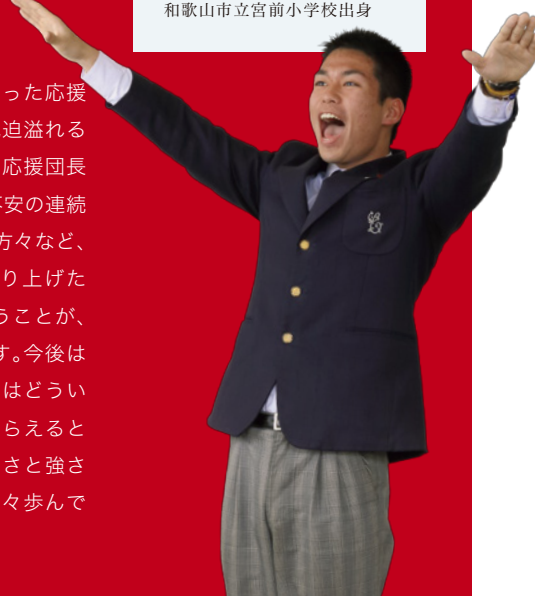
応援団と チアリーダーを中心に

応援団とチアリーダーは高等学校の生徒で結成され、各大会の1ヶ月前から本格的な練習をはじめます。当初は振り付けもぎこちないですが、練習を重ねていくと徐々に上達していきます。彼らが中心となり、全校生徒が心をつなげて練習し、広げられる応援は迫力満点です。

全校生徒が ひとつになった経験は 貴重な財産です。

私は、あの甲子園での全校一丸となった応援に感動し、それを率いる応援団の気迫溢れる姿に憧れの念を抱き入団しました。応援団長として人前で応援するのは緊張と不安の連続でしたが、今では全校生徒や観客の方々など、何千人もの人々が一体となって作り上げた「応援」という作品に出会えたということが、かけがえのない経験となっています。今後はその経験を生かし、人を応援するとはどういうことなのか、逆に人に応援してもらえとはどういうことなのかを考え、優しさと強さを兼ね備えた人間になれるよう、日々歩んでいきたいと考えています。

中・高6年一貫コース
中5(高2)
応援団長 西岡 巧真さん
和歌山市立宮前小学校出身



スクールライフ

クラブ

スポーツや文化活動を通じて人間関係を築く。

体育部

(中学校のみ)

サッカー/バレーボール/
陸上競技/卓球/バスケット/テニス/
剣道/少林寺拳法



文化部

新聞/ブラスバンド/美術/演劇/天文/放送/茶華道/
写真/ESS/生物/書道/コンピュータ/箏曲/
囲碁将棋/歴史/合唱/科学/競技かるた



キャンパスカレンダー

さまざまな学校行事で人間性を磨く。

April

- 入学式、始業式
- 新入生オリエンテーション(新入生)
- 錬成会(高1)
- 身体測定

May

- 母校訪問(新入生)
- 内科検診
- 中間考査
- 育友会総会
- 球技大会

June

- 学園創立記念日
- 歯科検診
- 音楽鑑賞会

July

- 学期末考査
- 林間、臨海学校(中学)
- 三者面談
- 留学生来校(アメリカ)
- 高校野球応援
- 韓国研修プログラム

August

- 留学生来校(韓国)
- 終業式
- 東大見学(中3)
- 貝塚合宿(中2)

September

- 始業式
- 入試説明会
- 地区懇談会
- 留学生来校(オーストラリア)
- 実力テスト

October

- 入試説明会
- 中間考査
- 文化祭
- 教育講演会
- 進学指導会
- 体育大会
- 北海道修学旅行(中5)

November

- 実力テスト
- 卒業記念陶板作成
- 北海道修学旅行(S2)

December

- 学期末考査
- 三者面談
- 終業式

January

- 始業式
- 入学試験(中学)
- 大学入学共通テスト
- 卒業式(高校)

February

- 入学試験(高校)
- 私立大学入試
- 国公立大学個別試験

March

- アメリカ短期留学(高1)
- オーストラリア短期留学(高1)
- 学年末考査
- 三者面談
- 終業式
- 高野山合宿(中1)
- 沖縄修学旅行(陸上部)
- 卒業式(中学)

生徒の一日

何気ない日常にも本校ならではの特色がある。

8:25～ 読書時間

興味・関心のある分野の書籍を読み、幅広い教養を身に付けます。



8:35～ 読経

始業前の読経で心を静め、決意を新たに1日のスタートをきります。



11:55～12:30 昼休み

愛情がたっぷり詰まったお弁当を友人たちと楽しくいただきます。



15:50～ 放課後

クラブ活動や補習授業の時間です。図書館の自習スペースで、受験勉強や予復習に取り組む生徒もいます。(学年・コースによっては7限目もあります)



校時表 [60分授業]

読書	8:25～8:35
1限目	8:35～9:35
2限目	9:45～10:45
3限目	10:55～11:55
昼食	11:55～12:30
4限目	12:30～13:30
5限目	13:40～14:40
6限目	14:50～15:50
7限目	16:00～17:00

制服紹介

快適なスクールライフを彩る。



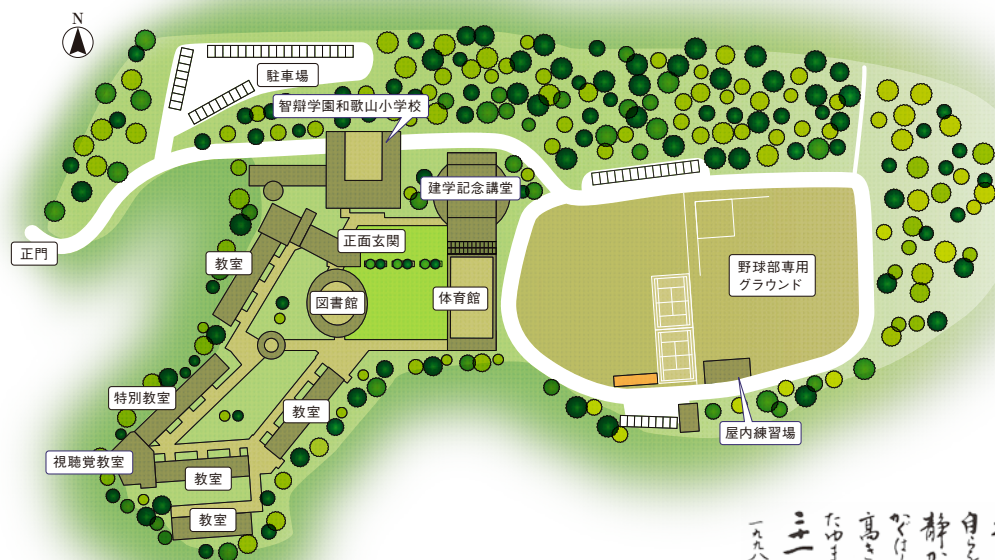
スクールガイド

施設・設備

心身の成長と主体的学びを育む充実の教育環境。



- 1 図書ゾーン
- 2 マルチビジョンルーム
- 3 コンピュータ
自学自習教室
- 4 文化ゾーン
- 5 茶華道室
- 6 創立10周年記念
建学記念講堂
(昭和63年10月竣工)



【学校長(当時) 碑文】
創造への思索
豊かな感性への誘い
新しいアイデアへの導き
輝かしい創造への思索
我が若き者
自らを拓け求め究めよ
静かに深く思え
なほとて学ばず余の学ばれ
高き敬智
たゆまれぬ気概もち
三十一世紀を飛翔せよ
一九八一年四月 建立

学園について

和歌山県の要請により開校。

学園の誕生

智辯学園和歌山中学校・高等学校は、和歌山県当局の強い要請と藤田照清大僧正の私学教育に懸ける熱意とが醸成し、昭和53年4月に開校しました。設立母体は智辯学園中学・高等学校であり、「誠実・明朗」を教育目標とし、持てる能力の最大開発と、人や物を大切にする心、感謝の心、使命感に燃える人間の育成をめざしています。和歌山県が本学園を招致した所以は、本学園玄関壁の碑文「知事招請の辞」に明記されています。本学園は、設立母体の建学の精神を継承し、さらに大きな前進と発展を使命とします。



知事招請の辞(正面玄関壁)

沿革

昭和53年	1月	第一回入学試験実施(於和歌山大学教育学部校舎)
	4月	第一回入学式(於海南市立体育館) 中学82名、高校146名入学
	11月	校舎第二期工事竣工
昭和54年	5月	体育館竣工
	6月	竣工記念式典
昭和56年	2月	高等学校第一回卒業式
昭和57年	2月	校歌制定 (作詞 藤田照清校長 作曲 末吉保雄桐朋大学教授)
昭和59年	2月	6年一貫教育課程第一回卒業式
昭和60年	4月	編入コース設置
昭和62年	4月	国際コース設置
昭和63年	1月	藤田照清第二代理事長就任、校長兼務
	10月	創立十周年記念式典並建学記念講堂竣工式
平成元年	11月	野球専用グラウンド竣工
平成 4年	4月	新制服制定
	7月	冷暖房設置(全館)
平成 6年	4月	第66回選抜高校野球大会初優勝
平成 8年	4月	第68回選抜高校野球大会準優勝
平成 9年	8月	第79回全国高等学校野球選手権大会初優勝
平成10年	4月	創立二十周年記念式典並記念図書館竣工式
平成12年	4月	藤田清司第二代校長就任
	4月	第72回選抜高校野球大会準優勝
	8月	第82回全国高等学校野球選手権大会優勝
平成13年	4月	国際コースをINCに名称変更
平成14年	4月	智辯学園和歌山小学校、第一回入学式 80名入学
	8月	第84回全国高等学校野球選手権大会準優勝
平成19年	5月	創立三十周年記念体育館改築
平成21年	12月	藤田清司第三代理事長就任、学校長兼務

校歌

作詞 藤田照清
作曲 末吉保雄

一、
ここ南海の
古代人の
尊女の遺志
創建し 真理の
茜いろ映え
聳えたるこそ
永に栄光あれ 智辯学園
おお吾等が和歌山高校

二、
黒潮かをり
自然の愛撫に
英気のみなざる
一途 希望に
実力 培ひ
稔りの将来に
永に栄光あれ 智辯学園
おお吾等が和歌山高校

三、
生石山並み
指呼の間に
いま創造の
われら母校の
校風けだかく
使命を双肩に
永に栄光あれ 智辯学園
おお吾等が和歌山高校

学校法人 智辯学園

智辯学園中学校・高等学校 奈良県五條市野原中4-1-51 Tel.0747-22-3191	智辯学園和歌山中学校・高等学校 和歌山県和歌山市冬野2066-1 Tel.073-479-2811	智辯学園和歌山小学校 和歌山県和歌山市冬野2066-1 Tel.073-479-1200	智辯学園奈良カレッジ <小学部・中学部・高等部> 奈良県香芝市田尻265 Tel.0745-79-1111

インフォメーション

学校見学会日程	2020年	8 / 29 (土)	12:30~	〈小学生・中学生対象〉
学校説明会日程	2020年	9 / 19 (土)	10:00~	エブノ泉の森ホール(泉佐野市)
		9 / 19 (土)	10:00~	御坊商工会議所(御坊市)
		9 / 26 (土)	10:00~	有田市文化福祉センター(有田市)
		9 / 26 (土)	10:00~	ガーデンホテルハナヨ(田辺市)
		10 / 3 (土)	10:00~	ホテルいとう(岩出市)
2021年度入試 説明会日程	2020年	9 / 4 (金)	10:30~	ホテルグランヴィア和歌山(私塾対象)
		10 / 24 (土)	13:00~	本校(和歌山市)

2020年度入試 実施日・募集人員

● 中学校			● 高等学校 編入コース		
	前期入試	後期入試		専 願	併 願
実施日	令和2年 1月18日(土)	令和2年 1月21日(火)	実施日	令和2年 2月2日(日)	
募集人員	100名	35名	募集人員	45名(専願・併願)	

2020年度 出身地域別生徒数

地域 学年	和歌山市	海南市 海草郡	紀の川市 岩出市	橋本市 伊都郡	有田市 有田郡	御坊市 日高郡	田辺市 西牟婁郡	新宮市 東牟婁郡	大阪府	その他	合 計
中学1年	104	16	29	1	8	8	4	0	40	0	210
中学2年	121	16	18	1	12	9	3	1	33	1	215
中学3年	101	19	29	3	11	7	7	0	35	4	216
高校1年	120	18	30	1	13	13	8	1	51	4	259
高校2年	131	23	27	5	15	8	7	1	51	6	274
高校3年	107	26	32	2	10	14	6	3	47	5	252
計	684	118	165	13	69	59	35	6	257	20	1426

アクセス

始業時間8時35分に間に合う
主要駅の出発時刻の目安

天王寺、堺、橋本、御坊など、関西南エリアの主要都市は通学
圏内にあります。さらに、最寄りのJR黒江駅より徒歩10分の
距離なので、通学の負担が軽く、勉学に集中できます。

最寄り駅から徒歩でのルート
JR黒江駅より徒歩10分

